



令和2年5月20日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」 令和2年度採択機関の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」における令和2年度採択機関を決定しました（別紙1）。

第5期科学技術基本計画において、次代を担う女性が科学技術イノベーションに関連して将来活躍できるよう、女子中高生やその保護者への科学技術系の進路に対する興味関心や理解を深める取り組みを推進するとともに、関係府省や産業界、学界、民間団体など産学官の連携を強化し、理工系分野での女性の活躍に関する社会一般からの理解の獲得を促進することとされています。また、第4次男女共同参画基本計画においても、科学技術に興味を持つ女子生徒を増やし、理工系分野への進路選択を支援することが施策の基本方針とされています。

女子中高生の理系進路選択支援プログラムは、これらを踏まえ、女子中高生の理系分野に対する興味や関心を高め、理工系分野へ進むことを志すためのさまざまな取り組みを支援します（1件あたりの支援費：上限300万円／年 支援期間：2年）。

本年度は、令和2年1月24日（金）から同年3月6日（金）の期間に募集を行い、19件の応募がありました。その後、外部有識者で構成される委員会（別紙2）にて審査し、12件の機関を決定しました。その結果、令和2年度の実施機関は17拠点となります。

なお、事業の詳細については下記のホームページをご覧ください。
ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/cpse/jyoshi/>

<添付資料>

- 別紙1：女子中高生の理系進路選択支援プログラム 令和2年度採択機関一覧
- 別紙2：女子中高生の理系進路選択支援プログラム推進委員会 委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ
〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目1-8 川口センタービル
日紫喜 豊（ヒシキ ユタカ）
Tel：048-226-5671 Fax：048-226-5684
E-mail：[jyoshi\[at\]jst.go.jp](mailto:jyoshi[at]jst.go.jp)

女子中高生の理系進路選択支援プログラム
令和2年度採択機関一覧

No.	実施機関名 「企画名」	概要
1	<p>八戸工業高等専門学校</p> <p>「はばたけ SciTech Girls (サイテック・ガールズ) – 北東北産業都市八戸発！ 青森リケジヨの人材交流 型育成ー」</p>	<p>本企画は、全国的にも女子生徒の進学率が低い工学系への進路選択の支援を目的としている。実施機関である八戸工業高等専門学校は北東北の産業都市・八戸に所在し、全国の工業高専の中でも女子学生の在籍率が高いことを特徴とする。その強みを生かし、在籍女子学生が女子中学生を対象とした公開イベントを行うことで、身近なロールモデルとして女子中学生への理系選択への興味関心を高めることを狙いとする。また、本校女子学生がこの事業に主体的に関わることにより、自らも専門知識・技術を高めるべく専攻科への進学や大学編入学、さらにその先にある大学院進学を目指す動機付けの効果も狙う。</p>
2	<p>山形大学</p> <p>「ヤマガタ 夢 ☆ 未来 Girls プロジェクト」</p>	<p>本企画は、理工系進路に関心が薄い中高生の理解・関心を高めるため、以下4点に取り組む。</p> <p>①県内の中学校（毎年4校）を訪問し、女性の研究者・大学院生の講師が、女子が関心を持ちやすい実験を行う出前講座を提供し、理工系の女性が活躍している職場を紹介する。</p> <p>②県内の高校（毎年4校）を訪問し、女性の大学院生が探究活動の指導や進路講話を行う。出前講座を提供し、理工系の女性が研究している企業を紹介する。</p> <p>③中高生と保護者を対象に、女性の研究者・大学院生との交流や実験に参加できるサイエンスカフェを県男女共同参画フェスティバルにおいて開催する。</p> <p>④県内全ての中学1年生（1万人）に本プロジェクトの紹介チラシを配布する。</p>
3	<p>小山工業高等専門学校</p> <p>「サイエンスキャラバン で届ける、リケジヨライフ への夢」</p>	<p>本企画は、対象者の理工系に対する興味の度合いに応じた多彩な取り組みを、中学・高専・教育委員会連携の下で展開し、理工系進路意識の裾野拡大および深化を図る。</p> <p>まず、理工系に興味の薄い層には、訪問型イベントを通して理工系分野との出会いを届ける。特に「サイエンスキャラバン@スクール」では、中学校のキャリア教育とコラボした斬新な特別授業を行い、理工系の学びや職業の魅力を伝える。</p> <p>次に、文理選択に迷う層には、招待型イベント「ロールモデルトーク@高専」「ラボ見学@高専」を通してリケジヨライフへの憧れや幅広い理工系分野への関心を喚起する。さらに、理工系の分野選択に迷う層には、「ラボ体験@公開講座」で特定分野への関心を深める機会を提供する。</p>

4	<p style="text-align: center;">山梨大学</p> <p>「山梨で見つけてみよう 理系のチカラ！親子でひ らくサイエンスの扉☆」</p>	<p>本企画は、理工系に苦手意識を持つ女子生徒が、本プログラムの支援により、保護者と共に情報処理の体験や機械工学に触れることで理工系の楽しさや魅力を実感し、理工系進学への関心を喚起できる環境を山梨県内に整えることを目指す。</p> <p>大学内の学部組織と協力し、さまざまな職種の地元企業と連携しながら、女子中高生のみならず保護者も対象に、ドローンやプログラミングの講義や交流イベントを企画する。本プログラムへの参加を通じて、親子が共に理工系進学や理工系進路選択後のキャリア形成の不安を払拭し、家族で子どもの理工系進学選択を応援する環境を整える。これにより、理工系進学に関心が低い女子中高生に、理工系の扉を開く力と将来を切り開く勇気を与えることが、本プログラムの狙いである。</p>
5	<p style="text-align: center;">新潟大学</p> <p>「課題探究を通じて挑戦 する勇気を！ Niigata Girls in Science」</p>	<p>本企画は、「課題探究」という新たな切り口から、女子中高生の理系進路選択を支援することを主眼とする。理工系に苦手意識を持つ女子生徒や、「理工系＝男子」という先入観を持つ保護者にとって、理工系色の濃いアプローチは受け入れにくい。そこで本企画では、文理融合型プログラムから日常にある身近な科学に注目し、理工系のイメージを変えることを狙いとする。その際には、主体部局の高大接続推進部門が蓄積してきたノウハウを生かし、中学・高校のニーズを最大限に反映させる。さらに、中高生・大学生・保護者・教員が出会う場所を提供することで対話の促進を図り、女子生徒が「挑戦する勇気」を持てるような環境作りに寄与する。</p>
6	<p style="text-align: center;">滋賀県立大学</p> <p>「集まれ！未来で輝くク リエイター系女子 in 滋賀」</p>	<p>本企画は、女子中高生の進路選択において、女子学生比率が特に少ない工学系学部への進学を促す取り組みを実施する。工学部は、世の中の産業を支えるモノづくりのための学部であり、女性の視点を充実させることで、多様かつ柔軟性に富む製品の開発につながることを期待できる。本企画においては、クリエイター体験、企業見学に加え、理系的思考体験としてデータからの推論、および論理的思考力に関わる謎解きを取り入れることで、理系選択や勉強を意識させずに、気軽に参加できる取り組みを実施して理工系進路選択への動機付けを与える。また、理工系選択後の将来について、理工系で学んだ思考力は、技術職に限らず多様な職業の中で生かされることを示す。</p>

7	<p>京都光華女子大学</p> <p>「リケジョ育成のためのプログラミング教育と実験的学び～環境と防災をテーマにして～」</p>	<p>本企画は、女子教育に実績のある提案機関が、世界トップクラスの研究機関・企業と連携し、「環境と防災」をテーマにした、女性のロールモデル主導による理工系女子育成プログラムを展開する。</p> <p>具体的には、提案機関または地域の女子中学・高校において、環境問題や災害に関する概論授業を実施後、これらをテーマにしたプログラミングの基礎を学ぶ。そして、生徒自らが作成したプログラムで自然破壊や災害発生時のシミュレーションを行う。さらに、長期休暇を利用した、「環境・防災サイエンスツアー」を提案機関および共同連携機関にて開催し、災害を起こす自然現象の再現や、環境保全に貢献する先進技術を実験的に学ぶ。本事業では、このような環境と防災をテーマにプログラミング教育と実験的学びを通じた理工系女子の育成をめざす。</p>
8	<p>武庫川女子大学</p> <p>「私の未来を創造する Muko Labo 4C プロジェクト -ひょうご理系女子未来塾-」</p>	<p>本企画は、「理工系分野に関する興味喚起、進路意識・キャリア意識の醸成、理系進路選択を後押しする保護者、教員の増加」を目的として、以下の「Muko Labo 4C プロジェクト」を展開する。</p> <p>①Challenge! : 実験・実習、プログラミングに挑戦（理工系への興味喚起、裾野拡大）</p> <p>②Change! : 理工系のイメージの一新（ロールモデル提示、生徒・保護者・教員の意識改革）</p> <p>③Create! : 文理融合型の商品開発プロジェクトでものづくり体験（未来の夢との出会い）</p> <p>④Connect! : 女性研究者や理工系大学生と交流し、理系進路意識を醸成する</p> <p>さらに、「理系進路選択の見える化」を行うため、「未来塾キャリア・パスポート」を導入し、キャリア意識の醸成や進路追跡調査に利用可能なシステムを構築する。本企画によって、女子生徒が持つ理工系への固定観念やイメージを一新し、自分の目指す理工系キャリアを明確にすることで、未来に輝く理工系女性を増やす。</p>
9	<p>久留米工業高等専門学校</p> <p>「モノづくりって楽しい!～久留米発理工系女子の萌芽支援プロジェクト～」</p>	<p>本企画は、理工系分野の中で最も進学率の低い工学系分野に焦点を絞り、理系・文系への進路選択が未定の女子中学生をターゲットとした出前授業や公開講座などを実施し、モノづくりの楽しさを経験してもらうことにより理工学系分野への関心の萌芽を促す。</p> <p>また、本校に在籍する女子高専生の出身中学校への派遣や、企画対象地域で活躍する多様なキャリアを有する女性技術者などを招いた座談会の開催など、進学から就職、就職後のキャリア形成に至る将来の具体的なキャリアモデルを実感してもらう。</p>

10	<p style="text-align: center;">佐賀大学</p> <p style="text-align: center;">「継続・育成型 STEAM ガールズ in SAGA・SASEBO」</p>	<p>本企画は、佐賀大学（佐賀県）、西九州大学（佐賀県）、長崎国際大学（長崎県佐世保市）の3大学で連携し、西九州地域の女子中高生やその保護者、教員に向け、科学への興味を促し、かつ理系進路選択の可能性について学ぶ場を提供する。</p> <p>大学教員による専門講義、中学・高校への訪問講義、理工系女性による講演会、地方自治体と協力した地域開放型実験体験会、地元企業による現場体験会、指導者・保護者のための男女共同参画講義を対象に応じ、それぞれ実施する。</p> <p>また、教科にとられない探求型の学びとして、「STEAM (S: Science, T: Technology, E: Engineering, A: Art, M: Mathematics)」の楽しさを体験するプログラムを提案、実施し、次世代を担う日本の理系女子のための教育プログラムを構築する。</p>
11	<p style="text-align: center;">長崎大学</p> <p style="text-align: center;">「夢・憧れ・志を 育むリケジョ育成プロ グラム」</p>	<p>本企画は、共同機関として理工系企業、校長会、PTAなどの県内機関、連携機関として県教育委員会、市町教育委員会などが参画した実施体制で県南地区に限定した事業を展開する。県内巡回型「夢セミナー」(R3)、大学研究室などにおける体験学習型「憧れセミナー」、企業、教育行政、一般市民の参加による地域開放型「志セミナー」を中心に支援者である保護者・教員に対する啓発に重点を置いたリケジョ講師派遣事業を実施する。また、県内における支援意識啓発をさらに強化するため、リケジョ情報を掲載した「リケジョ通信」を県内中高校などに配布するとともに、キャリア教育に資する資料としてリケジョ冊子(R3)を作成し、小中高校などに配布する。</p>
12	<p style="text-align: center;">琉球大学</p> <p style="text-align: center;">「美ら夢サイエンスプ ロジェクト for 琉球リケジョ」</p>	<p>本企画は、「琉球」をキーワードに、沖縄県内外の女子中高生を対象に科学への興味を促し、理工系分野に進学する女子学生を育成する。本企画では、女性理工系出身者による仕事紹介、ロールモデルの提示、大学の研究室での実験実習、サイエンスカフェなど、多彩な企画を通して女子中高生がサイエンスに触れる機会を増やし、理工系進学によるキャリアの多様性を伝える。また、女子中高生に大きな影響力を持つ保護者や教員を対象としたセミナーを開催し、サイエンスへの興味を高め、理工系進路に対する理解を深める。本企画では、特に中学生や離島地域、県外地域といった、未開拓層へのアプローチに注力する。</p>

女子中高生の理系進路選択支援プログラム推進委員会
委員一覧

役職	氏名	所属機関
委員長	加藤 昌子	北海道大学 大学院理学研究院 教授
委員	荒木 美菜子	埼玉県立戸田翔陽高等学校 教諭
	岡田 行雄	帝京大学 大学院教職研究科 客員教授
	木原 民	リコー I T ソリューションズ株式会社 技術経営本部長（兼）イノベーション推進室長
	熊田 亜紀子	東京大学 大学院工学研究科 電気系工学専攻 教授
	矢吹 正徳	株式会社日本教育新聞社 編集局 取締役／編集局長

（委員は五十音順）

（所属、役職は令和 2 年 4 月 1 日時点）